

犬から見た世界 I



エヴァーグリーン・
ドッグ・フィールド
代表 森 一彦

アレクサンドラ・ホロウィッツ著の「犬から見た世界」の中から、先月は犬の嗅覚についてご紹介しましたが、今月は犬の聴覚と視覚についてお知らせしたいと思います。

人間の聴覚の幅は20ヘルツから20キロヘルツと言われていますが、犬は人間の有毛細胞が捉える事が出来ない、45キロヘルツまでの音を検知することが出来ます。いつも生活している部屋の中でさえ、高周波の音は響き渡っており、犬の耳は絶えずそれを捉えているのです。デジタル目覚まし時計の水晶振動子からは高周波のパルス信号が止むことなく発せられ、壁の後ろからはネズミが発する甲高い誘導の鳴き声が、壁の内側でシロアリが体を振動させる音までが聞こえてきます。

人間は一日のほとんどを1000ヘルツから1キロヘルツまでの音を理解しようとして過ごしていますが、犬も私たちの話し声に含まれる強調や抑揚、韻律を理解するのです。ですから、私たちが犬に使う言葉の「音」にもっと敏感になれば、犬からももっと良い反応が期待できるかもしれないのです。

高音と低音は違う意味を持ち、語



尾が上がる音と下がる音は対極をなします。私たちが赤ちゃんや幼い子供をあやす時、高い浮ついた口調（赤ちゃん言葉）になり、尻尾を振っている犬に対して同じような赤ちゃん言葉で話しかけるのは決して偶然ではありません。何故ならば幼い子供や犬が色々な話し声が聞こえる言葉の中から、もっとも関心を寄せるのがこの赤ちゃん言葉だからです。赤ちゃん言葉が聞こえてくると、彼らは絶えず続けられていたおしゃべりがようやく自分に向けられたことが分かるからです。又、犬は生まれつき低音より高音に興味をひかれるので、犬のテンションを上げて、一緒に遊んだりアジリティーなどのゲームを行うときには、語尾を上げて高音で速いテンポで指示を出し、逆にテンションを下げて、部屋の中で静かに落ち着いていてもらいたい時には、語尾を下げた低い声で、長めのトーンで「伏せ」と命じた方が良いでしょう。

では、犬はどれくらい言葉を理解することが出来るのか？ドイツには2000個以上のオモチャを名前で見別することが出来る「リコー」というボーダーコリーがいるそうです。視覚について言えば、レトリバーやハウンド種のように鼻が長いほど視覚線条が多くなり、人間よりも高度のパノラマ視野を持つ事が出来ます。一方、鼻の短いパグなどの犬種は網膜中心野が発達していて、顔の前の対象に焦点を集めることが得意です。長い鼻のラブラドルレトリバーは、横の方に投げられたボールでも周辺視野の外側に消えることなく認識することが出来ます。それに反してパグは目の前にある物体に焦点を合わせるのが上手なので、抱かれていた飼主の顔を認識するのは得意なはず。この比較的狭い視野のせいで飼主の表情に注意を集中するため、パグなどの短頭種の犬たちがコンパニオンドッグとしてもっともふさわしいと考えている研究者もいる位です。又、犬は色盲であると言われてきましたが、錐状体を3種持ち、赤、青、緑の波長に反応出来る人間と違って、犬は青と緑がかった黄色に反応する2種の錐状体しか持たないために、認識出来る色彩システムが人間よりも弱いという事のようにです。これがどんなふうなのか想像すると、一日の時間帯で人間の色彩システムが弱まる時間、そう、暗くなる直前の黄昏時の、木の葉の緑の色が微妙に色あせて、ぼんやりしてきた時間、まだ色があることはわかるし光と闇も検知できるけれども、色彩の豊かさは薄れてしまう時間帯、犬から見た世界はそういうような景色である…と著者は述べています。

識別できる色彩の幅が狭いために犬はめったに色の好みはしないので、飼主が紅いリードに青い首輪といったあまり素敵とは言えない組み合わせで散歩に出かけても、決して「恥ずかしい」と思ったりはしませんからご安心ください。

遊ぶ 学ぶ かかり合う...Wan倶楽部

Evergreen Dog Field

ドッグラン・ドッグカフェ・飼い方相談

福島県郡山市熱海町高玉字抜山1-1 磐梯熱海ICから約6分

☎024-994-0811 | エヴァーグリーンドッグフィールド | 検索

福島県19郡保健第21号・訓練第5号(有) Evergreen Dog Field
登録年月日H19年4月6日 有効期限の末日H24年4月5日 動物取扱責任者 森一彦